

教育研究業績書

所属	職名	氏名	学位
幼児教育学科	助教	陳勝	博士(教育学)

I 教育活動

教育実践上の主な業績	年月日	概要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
1.こども家庭福祉論——ミニツツペーパーを活用した 教員と学生の双方向的な授業展開	2022年9月26日 ～ 現在	①各回の授業終了後、学生に感想・コメント・疑問などを記入・提出してもらう。②提出された感想・コメント・疑問などは匿名化した上で次回の授業で回答やコメントを行う。この実践の意図は、教員と学生のコミュニケーションを促し、お互いに新たな気づきや学びを得ることにある。学生から寄せられた感想および疑問に応じて授業内容を修正することもあり、授業内容の改善に繋がっている。
2.こども家庭福祉論——実証的資料に基づいた授業展開	2022年9月26日 ～ 現在	既存の公的統計資料に加えて、これまで直接実施・分析に関与してきた各種調査(若者を対象とした貧困当事者を包摂する参加型貧困調査、北海道保健福祉部と北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センターの共同調査「北海道子どもの生活実態調査」などの結果を活用して授業を展開している。この実践の意図は、学生が理解しにくい子ども・子育て家族の現実問題を客観的データ・事例などの事実置き換えること、そして学生が客観的事実に基づいた社会的支援・介入のあり方を考察するための基礎資料を提供することにある。
3.こども家庭福祉論——グループディスカッションを通じた自主的な学びの実現	2022年9月26日 ～ 現在	当該科目は保育士養成課程の必修科目である。専門職である保育士として守らなければならない倫理要領や求められている価値基準を学生が主体的に認識して対話しながら学ぶことができるよう、授業では関連の新聞記事を提示し、グループディスカッションを行っている。これを通じて、保育士として求められている素養を認識し、学生が自らの考えを深める機会を確保しつつ、保育士になるための演習も行えている。
(2)作成した教科書・教材・参考書		
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
(4)その他教育活動上特記すべき事項		

II 研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
(論文)					
1.社会保障から見た教育機会均等と人材育成:中国における義務教育援助の一考察[修士論文]	単著	2015年01月	金沢大学大学院人間社会環境研究科		A4版 55頁

2.中国における貧困状態で暮らす子どもの就学と生活に関する考察:遼寧省S市調査から	単著	2019年02月	『教育福祉研究』第23号		p.93-105(13)
3.貧困当事者を包摂する参加型貧困調査実施上の課題	単著	2021年03月	『北海道社会福祉研究』第41号		p.24-34(11)
4.貧困議論における貧困当事者の「排除」と「他者化」	単著	2021年09月	『教育福祉研究』第25号		p.9-20(12)
5.参加型貧困調査の実施について:「参加」に向けた調査の手続きを中心に	単著	2022年06月	『北海道大学大学院教育学研究院紀要』第140号		p.203-225(23)
6.貧困当事者が語る「貧困とはなにか」:参加型貧困調査を通じて〔博士論文〕	単著	2023年04月	北海道大学大学院教育学院		A4版 156頁
(学会発表)					
1.中国における貧困児童・生徒に対する「義務教育保障」の考察	単独	2018年12月	貧困研究会第11回研究大会		報告要旨は『貧困研究』第22号(2019年、p.129)に掲載。
2.参加型貧困調査の実践報告	単独	2021年12月	貧困研究会第14回研究大会		報告要旨は『貧困研究』第28号(2022年、p.103)に掲載。
(その他)					
1.2020年度貧困研究会「貧困研究奨励基金」	単独	2020年06月	貧困研究会		

Ⅲ 学会等及び社会における主な活動

2017年～現在に至る	総合社会福祉研究所(会員)
2018年～現在に至る	日本社会福祉学会(会員)
2018年～現在に至る	貧困研究会(会員)